

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2007(平成19)年11月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・議会だより編集委員会  
<http://www.kasukabe-shigikai.jp>

## 第9号



旧倉松第二調節池



### 主な内容

主な議案の紹介……………	2～4ページ
審議結果……………	5ページ
一般質問……………	6～15ページ
閉会中の委員会活動……………	15ページ
傍聴して一言……………	16ページ

# 平成18年度一般会計決算を認定、 商工業振興基本条例の制定、 放課後児童クラブ条例の一部改正を可決

## 議員提出議案は、6議案が提出され6議案を可決

### 討論

#### 平成18年度一般会計決算を認定

平成18年度一般会計決算の  
主な内容は次のとおりです。

##### ○主な内容

予算現額560億5201万円に対して、歳入決算額は553億3068万円、歳出決算額は530億9930万円となりました。差引残額は22億3137万円となり、平成19年度に繰り越すものです。

##### ○歳入の主なもの

歳入の根幹である市税は263億2368万円で全体の47.58%を占め、前年度と比較して6億7640万円増加しました。次いで、地方交付税が68億1190万円(12.31%)で前年度比7億8218万円の減少、国庫支出金が45億2690万円(8.18%)

で前年度比3億9492万円の減少となりました。

また、市債は29億8910万円(5.40%)となり、合併準備事業の終了に伴い、前年度比30億2610万円の減少となりました。

##### ○歳出の主なもの

歳出において占める割合の大きいものは、民生費が164億8174万円で全体の31.04%を占め、児童手当費、生活保護費や国民健康保険等特別会計への繰出金等が増加しました。次いで、総務費が82億1832万円(15.48%)、公債費が77億6108万円(14.62%)、衛生費が60億6285万円(10.64%)、教育費が54億3624万円(10.24%)、土木費が52億8823万円(9.96%)となっています。

【賛成多数で原案可決】

市民の願いの実現のため緊張感を持って努力することを求め反対(日本共産党)

合併後初めての通年決算です。ここ数年、市民の所得が減る中で増税が進み、住民税

定率減税半減や公的年金等控除の見直しにより8億4000万円の負担増です。税の滞納は約81億円となり、差押えは前年の2倍にふえました。納税誓約をしている方への差押えはやめ、十分な納税相談をすることを求めます。子育てで日本一を掲げる市長として、保育所持機児が55人に上り、遺児手当の所得制限が導入され、対象が狭められたことは問題です。また、小中学校の耐震化率は35%と低く、安全上大変心配です。一

刻も早い耐震化を求めます。障害者自立支援法により本人負担1割が重くのしかかっています。負担軽減策を独自に持つべきです。また、放課後児童クラブの運営に指定管理者制度が導入されましたが、サービス低下、安全軽視、利益重視が懸念されます。行政の責任で十分関与すべきです。

市長は商都復活を掲げていますが、商工費が歳出に占める割合は0.99%です。今議会会で商工業振興基本条例が成立しましたが、実効あるものとするために予算措置を明確にすべきです。

限られた財源を合理的かつ効果的に活用することを要望して賛成(新政の会)

厳しい財政状況の中、新たなまちづくりに向けて効率的な予算執行に努めたことは評価に値すると考えています。歳入では、歳入の根幹をなす市税は、税制改正を反映し、引き続き伸びを示しています。取納率向上については、職員の方々の努力で成果が上がっており、歳入の一助になっていくものと思います。今後とも取納率向上対策に全力で取り組み、税の公平性からも、

さらなる財源の確保に向けた努力をお願いします。また、市債は、合併準備関連事業が終了したことから大幅な減額となりました。市債は貴重な財源ですが、反面、後年度に公債費として負担を残すものなので、計画的かつ慎重な活用を望みます。歳出では、旧谷中小学校跡地整備事業は、周辺地域のコミュニティづくりを資するものとして評価します。また、一ノ割駅にエレベーターと身障者トイレが設置され、障害者や高齢者の安全と利便性が向上したものと評価します。藤塚米島線整備事業は、春日部地域と庄和地域を結ぶ幹線道路であり、地域の連携強化と都市機能の向上に資するものと早期完成を期待します。

#### 商工業振興基本条例の制定を可決

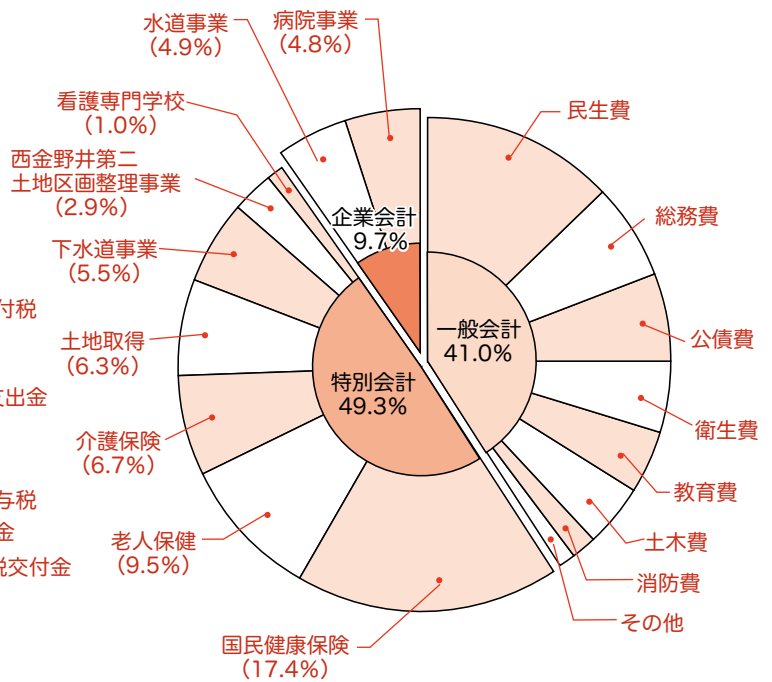
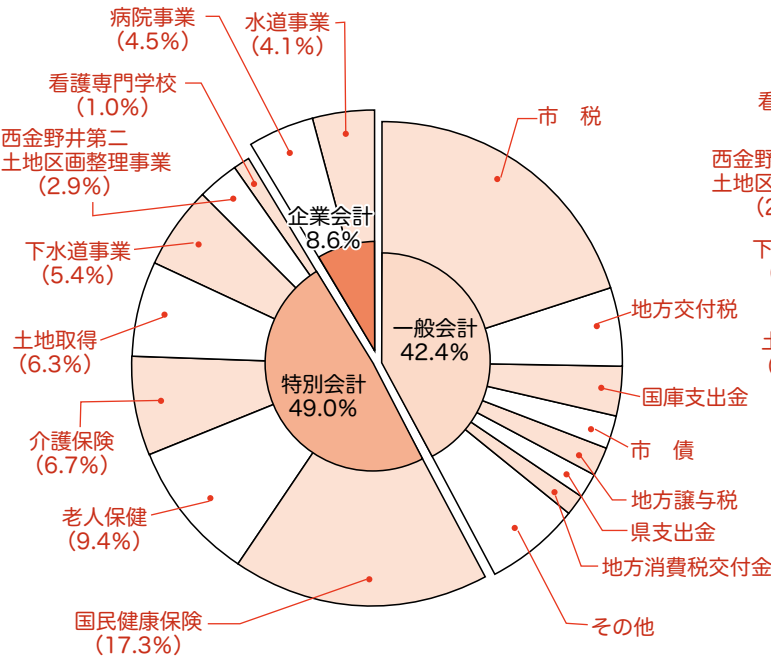
この条例は、商工業の振興を促進し、地域社会の活性化を図るために制定するものです。

商工業の存在は、私たちの生活に欠かせない製品・サービス等を提供するだけでなく、地域のにぎわいづくりや、

# 平成18年度 会計別決算

歳入総額 553億3,068万円

歳出総額 530億9,930万円



一 般 会 計				特 別 会 計				企 業 会 計		
歳 入		歳 出		歳 入		歳 出			水道事業	病院事業
市 税	263億2,368万円	民 生 費	164億8,174万円	国民健康保険	225億7,592万円	219億6,490万円		収益的収入	44億8,538万円	56億8,999万円
地方交付税	68億1,190万円	総 務 費	82億1,832万円	老人保健	122億9,430万円	122億6,863万円		収益的支出	41億5,553万円	60億1,004万円
国庫支出金	45億2,690万円	公 債 費	77億6,108万円	介護保険	87億1,855万円	81億2,820万円		資本的収入	9億1,184万円	1億9,818万円
市 債	29億8,910万円	衛 生 費	60億6,285万円	土地取得	81億9,827万円	81億9,827万円		資本的支出	21億8,657万円	2億2,904万円
地方譲与税	24億2,152万円	教 育 費	54億3,624万円	下水道事業	70億5,478万円	69億5,181万円				
県支出金	22億2,077万円	土 木 費	52億8,823万円	西金野井第二土地区画整理事業	37億7,837万円	26億2,366万円				
地方消費税交付金	18億3,163万円	消 防 費	22億7,647万円	看護専門学校	13億3,801万円	12億8,463万円				
そ の 他	82億 518万円	そ の 他	15億7,437万円	計	639億5,820万円	614億2,010万円				
計	553億3,068万円	計	530億9,930万円							

## 討 論

就労の場所を生み出すなど、さまざまな形で市民生活の向上に貢献しており、春日部市の発展に重要な役割を果たしています。

条例の主な内容は、市、商工団体等、商店会及び事業者が協働し、市民の理解と協力のもとに商工業の振興を推進していくことを基本に、それぞれの取り組みを定めるものです。

【全員一致で原案可決】

春日部らしい実効力のある指針内容になるよう強く要望して賛成(フォーラム春日部)

この議案については、会派として、議案質疑を行いました。春日部らしい指針を、第10条では指針をつくることになっており、また、執行部の答弁でも、これから半年から1年かけて、データを集め、指針を作成することのことでした。そのため、その指針の中で十分踏まえて、誰が見てもこれは春日部らしい、そして実効力のある商工業振興条例の指針だという内容となることを強く要望して、賛成するものです。

## 放課後児童 クラブ条例の 一部改正を可決

この条例は、春日部地域と庄和地域で異なる放課後児童クラブの事業内容を統一して、庄和地域の管理運営に指定管理者制度の導入を図るため改正するものです。

主な改正内容は、庄和地域の児童館併設の放課後児童クラブを廃止して、平成20年4月より川辺放課後児童クラブ、桜川放課後児童クラブ、中野放課後児童クラブを各小学校に開設するものです。さらに、庄和なかよし放課後児童クラブの名称を南桜井放課後児童クラブと変更します。

これにより、庄和地域の放課後児童クラブは、現在の3施設（定員90人）から、4施設（定員280人）となります。

また、春日部地域との事業の統一に伴い、保育料を8000円に改正します。減免規定についても、春日部地域と同様になります。

学校休業日の保育時間は、午前8時から午後6時30分までとなります。

【賛成多数で原案可決】

## 討 論

### 保育料の値上げと 保育水準の低下になる ため反対（日本共産党）

民間企業が指定管理者になった場合、利益を上げることが最大の目的となりますから、安全性がおろそかになったり、保育の水準の低下が懸念されますので、指定管理者制度ではなく、市直営に統一をすべきです。

次に、保育料は、5000円から8000円に1・6倍値上げになり、保育時間は、学校休業日の開始が7時30分から8時に繰り下げられて短縮となります。これは「負担は低くサービスは高く」の合併時の約束に反するものです。春日部地域を庄和地域の水準に合わせるべきです。

以上の理由から、この条例改正案に反対します。

### 保育内容の充実と 効率的な運営を図ることを 要望して賛成（新政の会）

今回の改正により事業の統一がなされ、市内の放課後児童クラブの保育の平準化が図れるものと推察します。

また、事業の統一に先立ち、庄和地域の放課後児童クラブの施設整備を行い、児童館併設施設を含めた3施設から、学校敷地内の独立専用施設3施設、学校隣接施設1施設の4施設に充実するものであり、利用者のニーズにこたえた施設整備になっていると評価します。

今後も、児童の健やかな成長をはぐくむために、さらなる保育内容の充実と指定管理者制度導入によるメリットを生かし、効率的な運営を図ることを要望して賛成します。

## 議員提出議案

### 中小企業の事業承継 円滑化のための税制 改正を求める意見書

団塊の世代が引退時期に差し掛かる状況下、特に小規模企業において、事業承継がなかなか進んでいません。

2007年版中小企業白書によると、昨年2006年の企業全体の社長交代率は3・08%と過去最低を記録しました。従業員規模別では、規模が小さいほど社長交代率が低下する傾向にあり、小規模企

業における事業承継の難しさを示しています。

また、年間廃業者29万社（2001～2004年平均）のうち少なくとも4分の1の企業は後継者の不在が理由となつています。これに伴う雇用の喪失は毎年20～35万人とも言われ、雇用情勢に与える影響も少なくありません。

こうした、中小企業の廃業や事業承継をめぐる問題は、日本経済の発展を阻害する大きな要因となっております。中小企業の雇用や高度な技術を守り、事業承継を円滑にすすめていくための総合的な対策を早急に講じる必要があります。

事業承継に係る諸課題について、従来から多様な問題提起や議論が行われ、実際に様々な制度改正も行われてきたところですが、

しかしながら残された課題のうち、とりわけ相続税を中心とする税制の問題は、承継当事者・関係者にとつて最大関心事の一つです。平成19年度の税制改正大綱においても、今後の検討課題として事業承継の円滑化を支援するための枠組みを検討する必要性が明記されたところです。

よって、国及び政府においては、以上の現状を踏まえ、中小企業の事業承継円滑化のために税制改正など下記の措置を講じるよう強く要望します。

記

- 1 非上場株式等に係る相続税の減免措置について、抜本拡充を図ること。
- 2 非上場株式の相続税法上の評価制度について、事業承継円滑化の観点から見直しも含め、合理的な評価制度の構築を図ること。
- 3 相続税納税の円滑化を図るために、事業承継円滑化の観点から必要な措置を講じること。
- 4 税制面のみならず、情報面、金融面、法制面など、事業承継の円滑化を支援するための枠組みを検討し、総合的な対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
平成19年9月21日

春日部市議会  
衆議院議長 河野 洋平 様  
参議院議長 江田 五月 様  
内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
財務大臣 額賀福志郎 様  
経済産業大臣 甘利 明 様

【全員一致で原案可決】

# 9月定例会 審議結果

(○：賛成 ×：反対)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	春 和 会	公 明 党	日 本 共 産 党	フ ォ ー ム 春 日 部	社 会 民 主 党	無 所 属
第71号	商工業振興基本条例の制定 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第72号	情報公開条例等の一部改正 (総務・建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第73号	政治倫理の確立のための春日部市長の資産等の公開に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第74号	手数料条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第75号	放課後児童クラブ条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
第76号	こども医療費の助成に関する条例等の一部改正 (厚生福祉・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第77号	中小企業近代化資金融資あっ旋条例及び小口特別融資あっ旋条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	×	○
第78号	市営住宅条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第79号	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第80号	体育指導委員条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第81号	土地開発公社定款の一部変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第82号	財産の取得について〔東部地域振興ふれあい拠点施設事業用地〕 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第83号	財産の処分について〔東部地域振興ふれあい拠点施設事業用地〕 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第84号	平成18年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
第85号	平成18年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
第86号	平成18年度老人保健特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
第87号	平成18年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
第88号	平成18年度土地取得特別会計決算認定 (総務)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
第89号	平成18年度下水道事業特別会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
第90号	平成18年度庄和都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
第91号	平成18年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
第92号	平成18年度水道事業会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
第93号	平成18年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	×	○	○
第94号	平成19年度一般会計補正予算(第2号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第95号	平成19年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第96号	平成19年度老人保健特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第97号	平成19年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第98号	平成19年度下水道事業特別会計補正予算(第1号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第99号	平成19年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

## 議員提出議案

第8号	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第9号	「地域安全・安心まちづくり推進法」の早期制定を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第10号	いじめ・不登校対策のための施策を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○
第11号	中小企業の事業承継円滑化のための税制改正を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第12号	「非核日本宣言」を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
第13号	公団住宅居住者の居住の安定に関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○



# 一般質問

## 市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

### 一般質問に27人が登壇

#### 持続可能な社会の構築について



白土 幸仁  
議員

地球温暖化が原因と考えられる異常気象が続いています。未来の子どもたちや動植物のためにも持続可能な地球環境を引き継いでいかなければなりません。本市でも、環境基本条例を制定し、環境への負荷の低減に資するエネルギー等の利用が促進されるように努めるものとしています。そこで、本市では、新エネルギーとして最も期待できるものは、水力エネルギーだと考えます。他市では、ミニ水力発電などを導入した成功例もあります。縦横にめぐっている大小の河川を貴重な資源として大いに活用すべきと考えますが、いかがでしょうか。また、今後、新エネルギーを利用するような施策はあるのでしょうか。

#### ○環境経済部長

ミニ水力発電の導入については、設置費やランニングコストによる営業電力との比較

における経済性の見きわめが必要で、現実には平野部の河川での設置例がほとんどないのが実情ですが、設置例や設備機器等の技術的な動向を注視してまいります。

また、策定中の環境基本計画に掲げる施策の中で、公共施設、交通分野、市民生活、事業活動における新エネルギーの推進を盛り込む予定ですが、さらに、全庁的、市全体を対象とした地球温暖化対策推進計画を策定し、新エネルギーの推進を図っていく予定です。

#### このほか

○大規模災害に関して

#### 自殺予防対策について



中川 朗  
議員

日本の自殺者数は昨年まで9年連続で年間3万人を超えています。これまで、自殺という個人の問題ととらえて、社会的な問題としての視点が欠けている嫌いがありました。このような中で、昨年、自殺対策基本法が施行され、国も本腰を入れたところです。法

第4条には、自治体の責務として、自殺対策については、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有すると規定しています。

そこで、本市でも自殺予防対策を図る方策を、法に基づき早急に進める必要があると考えますが、見解を伺います。また、子どもたちの間でも、さまざまな問題がストレスとなつていっていると思いますが、体制の整備、学校現場での取り組みについても伺います。

#### ○健康保険部長

心の健康相談などの内容の充実を行い、機会あるごとに相談窓口のPRや保健所、病院などの関係機関との連携を図り、自殺の減少、また、遺族に対する心のケアに努力してまいります。

#### ○学務指導担当部長

本市では、子供の自殺という事件は幸い起きていませんが、今後も、かけがえのない命をみずから絶つことがないように、心の健康を保持するための相談体制の充実に努め、命を大切にすることを一層推進してまいります。

#### このほか

○未払い問題について  
○新・春日部市について

「春日部」を  
全国に発信



鬼丸 裕史  
議員

クレヨンしんちゃんは、今や日本全国のみならず世界的に有名なキャラクターです。キャラクターの活用は市民にも親しみやすく、何よりもまちを明るくする効果は大きいと思います。春日部を毎週全国に宣伝しているわけですから、市の発行する資料や刊行物などに一定の絵柄の掲載許諾をいただくなどして、もっとクレヨンしんちゃんを活用したらいかでしょうか。他市ではキャラクター絵柄入り住民票の発行を行っている市もあります。この際、ぜひクレヨンしんちゃんを市のマスコットキャラクターに起用することを提案します。

総合政策部長

クレヨンしんちゃんは、旧春日部市の市制50周年記念事業に限ったキャラクターとして起用しました。

春日部のイメージキャラクターとして親しみやすく、適任であると考えており、どのような活用がふさわしいか、引き続き検討して参ります。

環境経済部長

フィルムコミッション設置については地域の理解協力を得られるかが重要となりますので、十分研究して参ります。

このほか

○ウイングハットを中心とした周辺施設を有効利用しよう

災害時要援護者  
リスト作成について



小久保博史  
議員

災害時要援護者とは災害時に一般の人々と同じような危機回避行動や避難行動、避難生活等ができず、他者による援護が必要な方々の総称です。内閣府の指針ではこのような方の住所・氏名等を記載したリストを作成し、消防団や自主防災組織等と情報を共有す

内牧地区のさらなる  
治安の向上のために  
交番が駐在所の新設を



石川 勝也  
議員

市内では、開発や人口増に伴い、残念ながら犯罪や交通事故などが多くなっています。また、毎日のように凶悪事件、詐欺事件などの報道がされています。このような事故、事件を減少させるためにも、さらに安全、安心の生活環境の充実のためにも交番が駐在所の増設を望むものです。

現在、市内には交番が8カ所、駐在所が3カ所ありますが、人口や交通量も急増している内牧地区には交番や駐在所は設置されていません。埼玉県は、警察官の人数が少ないのではないのでしょうか。

また、以前の一般質問で内牧地区の交番設置について、最大限の努力をしてまいりたいとの答弁でしたが、その後の進捗状況を伺います。

市民部長

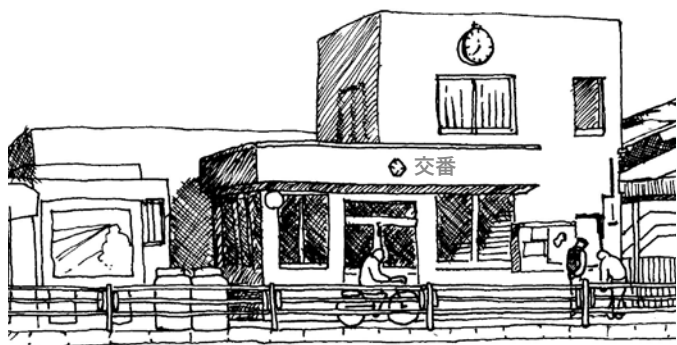
埼玉県は、平成13年度以降7年連続で全国一の警察官の増員がされましたが、関東1

都6県では、警察官1人当たりの人口負担は1位です。

また、交番の設置は、1日も早く設置されるよう要望書を春日部警察署に提出して

いますが、建設用地の確保、警察官の増員等の問題があり、すぐに解決できないのが現状です。地域住民が安心して暮らせる地域社会をつくるため、今後も引き続きお願いをしてまいりたいと思います。

このほか  
○春日部市主催の式典と祭の中から  
○地方選挙における投票率の向上を図る対策について



### 市立病院の医師不足 小児科・産科の休診と 子育て日本一の関係は



小島 文男  
議員

9月から市立病院の小児科と産科が休診となりました。医師不足からということですが、医師確保に向けての今後の行政のあり方を伺います。

また、医師が腕を磨くのだつたら環境が整った、設備の充実した、成果が上がる病院が良いということで、500床を超えるようなマグネネットホスピタルというのが評判になっていきます。充実した病院だと、患者さんも来る、医者も喜んで来るのです。子育て日本一を目指す市長ですから、市民の皆さんが安心できる、環境の整備された病院を、ぜひつくっていただきたい。

#### ○病院事務部長

当病院の小児科医は大変厳しい条件で勤務していました。9月からはやむを得ず休止をしましたが、市立病院は市民の命と健康を守る重要な要である認識しています。

#### ○病院長

施設の更新は、職員も患者様も望むことです。再整備ということになれば、職員にとつては使命感と同時に将来に向かうビジョンを明確にすることができるようになります。

#### ○市長

市立病院の再建充実を盛り込んだ総合振興計画(案)に対し、現在、議会や市民からご意見をいただいております。これを十分踏まえて検討して参ります。

#### このほか

○市立東中学校建設の進捗状況について

○旧庄和下柳地区に開発される大規模小売店舗について



市立病院

### 市立病院について



蛭間 靖造  
議員

小児科・産科の休止の話を知りましたが、市立病院の小児の第2次救急ができなくなったということが、一番大きな問題ではないかと考えています。今のままでは、市外の医療機関に頼るしか方法がなくなってしまうわけです。

小児科医師の確保に本腰を入れる必要があると私は考えています。

小児科医師の確保について、病院長はこれまでどのような対応を行ってきたのか、また、市長はこれまで、そして、これからの日大医学部との関係をどのように考えているのかお伺いします。

#### ○病院長

私の出身大学関係の教授を初め、医局長に幾度となくお会いして、現状の話をしましたが、小児科医師が少ないため、なかなか補充ができないということでした。また、ほかの大学との折衝の必要性が

あるとの指摘があり、折衝を続けてまいりました。

#### ○市長

市長就任以来、院長とともに機を見て日大医学部と協議し、医師確保についてお願いしてまいりました。

今後とも、日大医学部の関連病院として、良好で堅固な信頼関係の継続に努めてまいりたいと考えています。

#### このほか

○内牧地区に交流人口を誘導する方策について

○埼玉斎場丁字路から、古岡田川右岸を利用する道路の建設について

### 小児救急医療 体制の整備充実を



阿部真理子  
議員

市立病院は小児救急の第2次救急医療輪番病院として、午後6時から翌朝8時まで週6日担ってききましたが、小児科医の退職により4月に完全撤退し、小児科、産科の外來診療も現在は休止しています。子育て日本一を目指す春日部市としては、小児科医の確

保が急務であり、今後の小児救急医療体制の整備についてお尋ねします。また、小児の平日夜間診療部の今後の対応についてお尋ねします。

#### ○健康保険部長

検査や治療を必要とする重篤な疾病の場合の2次救急は、現在、丸山記念総合病院での月曜日みの運営体制です。

このため、3次救急の県立小児医療センター等に後方支援をお願いしています。小児救急医療の核である市立病院の小児科医の確保は急務であり、再開に向けて努力しています。

平日夜間診療部は開業医の時間外での小児の急な発熱などに対応するため岩槻、蓮田、春日部の医師会が協力連携し、市立病院内に検診センターを開設しています。市立病院の小児医療休診に伴い2次救急の輪番病院が手薄になっていくもの、3市の医師会ではかけがえのない子どもたちの命を守り育てるため、できることは続けていこうということから、今年度は協力連携し、継続することとなりました。

#### このほか

○庄和総合支所の充実を  
○(仮称)庄和図書館の開館  
○児童館の整備充実を



**「森の中の図書館」  
蔵書数10万冊を確保し  
早期実現を！」**



福田 晃子  
議員

(仮称)庄和図書館建設については、合併公約、新市建設計画にも位置づけられており、昨年12月議会では「森の中の滞在型図書館の早期実現を求める請願」(3万筆を超える署名添付)も全会一致で採択されました。市民は、いつオープンされるのかと待ちに待っています。6月議会以降、どのように見直されたのか、図書館の規模、内容、建設時期等をお答えください。

**○庄和総合支所長**

庄和総合支所庁舎有効活用検討委員会において、児童館の整備も含めた転用可能スペースについて再検討を行った結果、①総合支所の執務・管理スペース1487㎡、②市民の交流・ふれあいスペース639㎡、③図書館及び児童センタースペース2653㎡(1階の現行市民生活課事務スペースの一部を除く事務フロアと2階の旧議会棟のスペース)

1ス)に見直しを行いました。  
**○総合政策部長**  
本年7月の庄和第2児童館の不同沈下による休館措置を受け、図書館に加えて新たに児童センターを併設する形で庄和総合支所庁舎の有効活用を検討することになりました。

これまでの2つの検討会議を発展的に解消し、8月10日に「庄和総合支所庁舎有効活用庁内調整会議」を設置しました。今議会終了後、基本計画の策定や、整備の具体的な方策を検討してまいります。

このほか

○庄和第2児童館について

**路上喫煙禁止  
条例の制定について**



栗原 信司  
議員

平成14年8月に健康増進法が改正され、受動喫煙に関する規定が追記されたのを受けて一般質問で取り上げましたが、この時には制定に至らず、翌16年6月に再度取り上げましたが、いまだに取り組みが遅れています。

**利用しやすい  
公民館運営について**



川鍋 秀雄  
議員

公民館の有料化が11月1日より実施されます。有料化の実施に当たり、市内全地区で説明会を開催したと聞いていますが、その説明会における利用者の方々の意見や要望の内容をお聞かせください。

また、使用申請時期について、旧春日部市では1カ月前から、旧庄和町では3カ月前からでした。今回、有料化に合わせて、使用申請が旧春日部市方式に統一され、1カ月前からとなります。庄和地域の利用者から、1カ月前では事業が組みにくいという声を聞いています。この公民館の予約システムについて、新しい春日部システムを検討してもらいたいと思いますが、市の見解を伺います。

**○健康保健部長**

環境、健康の両面から、路上喫煙防止条例の制定に向けて、関係部署と調整を図っていきたく考えています。また、策定検討委員会を設置したいと考えています。

このほか

- 子育て支援策について
- 母子家庭等支援策について
- 住基カード等ICカードの活用について
- マンション前に停留所を

**○社会教育部長**

3月に全地区で開催した利用者会議では、使用料や減免に関することや、使用の変更や取り消しに伴う使用料の

還付に関する意見や質問が多くありました。なお、庄和地域では、使用申請を3カ月前からにしてほしいとの要望が多くありました。

また、使用申請時期は、合併協議に基づき統一しましたが、今後予定されている公共施設予約システムの導入により、手続は大きく変わると考えています。予約システムの導入に際しては、申請時期についても慎重に検討し、より利用しやすいシステムづくりに努めたいと考えています。

このほか

○庄和児童館の今後について



庄和南公民館

## 春日部市に若者の 就労の為の支援体制を



五十嵐みどり  
議員

近年、若者の働き方は多様化し、フリーターの数も増加傾向にあると言われています。若者就労対策は春日部市の将来にとっても決しておろそかにできない問題であると思えます。埼玉県では、若者の就労支援の機関として、さいたま市にヤングキャリアセンター埼玉、川口市には若者自立支援センター埼玉があり、さまざまなサポートを行っています。また、政府の対応では、ジョブカード制度を来年から正式にスタートさせると発表がありました。

市単独で支援体制を整備することは、現段階では難しい状況ですので、今後も講座の開催機会を積極的に活用し、できる限り本市での多くの講座の開催を図っていくとともに、県及びハローワーク等の関係機関と連携を深め、若者の就労支援に努めてまいりたいと考えています。

このほか

- 災害支援体制の情報提供について
- 「雨水貯留施設」に助成金制度導入について
- 妊婦無料検診の拡大について

## 校舎の耐震改修など 災害対策を早急に行うべき



武彦  
議員

7月には、春日部市商工振興センターにおいて、埼玉県雇用対策課の主催で、5日間にわたり講座が開催されましたが、春日部市において今後とも関係機関と連携して、若者の就労支援を行うべきではないでしょうか。

校舎の耐震化率は国平均58%、県平均52%、本市は34%であり、極めて深刻な状況です。52棟の耐震化が必要となっています。計画的に早急な耐震補強工事を実施する必要がありますが、どう進めたいのかお聞きします。大地震の際に多くの被害が

発生するのが、木造住宅の密集した地域です。住宅の倒壊や出火などにより、周辺に被害が拡大することも予想されます。市として、住宅の耐震化への助成制度を作り、耐震化を促進すべきではないでしょうか。

首都圏外郭放水路の完成後も市内で水害が発生しています。緑町3丁目も道路冠水、床下浸水が頻発しています。排水路の整備、排水ポンプの増設、調整池の設置などで、根本的な対策が必要ではないでしょうか。

### ○学校教育部長

県は平成27年度までに耐震化率を100%にする目標を定めています。市も同様に計画を策定しているところです。

### ○都市整備部長

個人住宅等の耐震改修助成制度については、耐震改修促進化計画の中で研究します。

### ○建設部長

水害については、既存施設の機能維持に努め、浸水地域については、可搬式ポンプで対応します。

### このほか

○こども医療費助成制度の対象年齢拡大の見直しは

## 農業ヘルパー 制度について



武幹也  
議員

最近の農業は、高齢化や後継者不足、遊休農地の問題が多く存在しています。その反面、定年退職した市民の間では農業に対する関心が高まっています。両者を結びつけ、

います。今後、関係機関との調整や先進事例の調査を行い、早期に導入できるように努力してまいります。経営形態は、農協が主体、行政が主体、農協と行政で共同の3つの形態が考えられますので、関係機関と調整してまいります。

このほか

- 少子化対策、子育て助成について
- ノーレジ袋、マイバッグ利用運動について
- 市道2-41号線の安全対策について
- 春日部中学校の運動場（校庭）について

昨今、農業を活性化させることは有意義なことと考えます。そこで、牛久市とJA竜ヶ崎の協力で今年4月に創設された、農業ヘルパー制度の導入について市の考えを伺います。また、農業ヘルパー制度を導入する場合、運営形態はどのようなものか伺います。

### ○環境経済部長

昨年10月、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想を策定しました。その基本構想の中で、農業従事者の安定的確保を図るためのヘルパー制度の導入を盛り込んで



内牧の農地

### 市庁舎自動車駐車場管理 違法駐車対策について



内田 勝康  
議員

市役所の敷地内駐車場は、市役所に用事のある方々のための公共サービス施設として設置されていることは言うまでもありません。しかし、現状を見ると、市役所利用者以外でも駐車することができている状態であり、市役所利用者に支障を来すのは必然であると考えられています。そこで、市役所本庁舎駐車場の利用状況をお聞かせください。

また、今秋には、ララガーデン春日部が開店しますが、これを受けて市役所駐車場が目的外に使用されることが多くなることは必然であると考えられます。そこで、市民文化会館や他市の市役所駐車場のよう、駐車券発券機を設置した上で土日開放し、有料化をしていくべきと思いますが、市の考えを伺います。

#### ○財務部長

市役所本庁舎の駐車場は、平面、立体駐車場を合わせ、

219台の駐車スペースを確保しており、開庁日には通常6割から7割程度利用されています。管理状況は、開庁時には警備員1名を配置し、駐車場内の監視や誘導等安全対策に努めており、目的外利用者に対し注意しています。

土日の一般開放については、有料による開放が適切であると考えています。一般開放に向けて自動発券機等の設置を検討し、できれば来年度から実施したいと考えています。

#### このほか

○植木剪定枝葉チップモデル事業について



市役所本庁舎駐車場

### 市役所駐車場の 休日開放について



栗 康次郎  
議員

市役所の駐車場をララガーデン側から貸してほしいとの要望があるとのことですが、ララガーデンのオープンによって西口全体が渋滞の影響を被るわけですから、地元商工会のために開放するという考え方が行政としては正しいと思います。例えば、春日部西口商工会連合会といった団体に管理運営を委託する方法は可能なのかどうか伺います。

また、市が一括管理する中で、商店会の利便性、振興という意味で商店会利用者に対してパーキングカードを発行し、スタンプ等で割引することとは可能かどうか伺います。

#### ○財務部長

一般開放については、駅周辺の商業の活性化、市民の利便性の向上、施設の有効活用の観点で見直し、市の来庁者へ支障を来さないよう配慮するとともに、民間駐車場経営に影響を及ぼさない範囲で

有料化を検討しています。一事業者の利便性ではなく、商店会から申し出があれば併せて検討したいと考えています。開庁時に限って有料開放する考えで、総合的に判断して市の管理が望ましいと考えます。

スタンプ等による無料化は可能と思います。今後、有料化を検討する中で休日開放をより良い形で利用できる方策を検討したいと考えています。

このほか  
○春日部駅東口地域の駐車ゾーンについて  
○東部地域振興ふれあい拠点施設について

公共施設の駐車場に  
マタニティマークの  
駐車スペースの設置を



富樫 清年  
議員

現在、妊婦の方々が市役所などへ来られたとき、1階の駐車場が満車のときは2階の駐車場に車を置き、階段を利用しなければなりません。また、一般の駐車スペースでは隣の車との間隔が狭く、ドアを全開することができないため、大きなおなかを抱えた妊

婦さんは非常に苦労しているとの言葉を聞いています。できれば公共施設の入り口付近の障害者用の駐車スペースのように、マタニティマークをつけた駐車スペースを確保していただきたい。未来を担う子どもたちへの多面からのお母さん方への配慮として、市内公共施設等への設置をしていただきたいと思います。見解をお伺いいたします。

健康保険部長  
妊娠中の方は施設の入り口から近く、かつ一般の駐車スペースよりも広い専用の駐車スペースがあると乗り降りが行いやすく、安全だと考えられます。市内の施設には、安心な駐車スペースはありませんので、施設管理者等へ設置について要請していきたいと考えています。

このほか  
○介護予防のための住宅改修福祉用具購入に受領委任払い制度の導入について  
○市内在住の外国人に対するサポートについて  
○カーブミラー及び街路灯等の設置基準について

○健康保険部長

○健康保険部長

○健康保険部長

### 高齢者向け健康器具を 活用した賑わいのある 公園づくりについて



新部 裕介  
議員

病気や介護の予防対策について、今住民の関心が高まっています。既に市内でも健康器具を活用、設置した事例がありますが、その現状について伺います。また、最近、公園で遊ぶ子どもが減り、ほとんど遊び声が聞かれない寂しい公園もあります。今後は子どもだけを対象にした公園ではなく、子どもからお年寄りまでが楽しめるにぎわいのある公園づくりを考えたらどうかと思います。また、市内において、朝夕、ウォーキングをされる姿を目にしますが、ウォーキング途中に立ち寄れるバラエティーに富んだ新しい健康遊具を活用した、にぎわいのある公園づくりについての考え方を伺います。

#### ○都市整備部長

本市における健康遊具の設置状況は、現在8カ所の公園に27基が設置されています。公園は子どもからお年寄りま



健康遊具（藤塚三本木第2公園）

で幅広い年齢層の皆様にご利用いただける施設です。世代間の交流や地域のコミュニティが図れるなど健康遊具の必要性は、さらに高まると考えます。地元自治会、利用者の要望を伺いながら、予算の範囲で適切な場所に設置してまいりたいと考えています。また、より多くの健康遊具をウォーキング時に立ち寄れる公園に、予算の範囲で設置できるように努めてまいります。

#### このほか

○交通事故防止意識をより高める「死亡事故0継続日数掲示板」の活用について

### 武里団地の防災対策 ごみ対策について



洪田 智秀  
議員

前回一般質問した時の綾瀬川断層地震における武里団地の避難人口2400人の根拠と、自主防災組織が設置した防災倉庫の中身について市は補助しますか。現在武里団地はゴミBOXがありますが、このままゴミBOXがある限り、市はBOXからのゴミ収集を続けますか。また、武里団地は大規模避難訓練が行われていないようですが。

#### ○秘書室部長

埼玉県が平成10年3月に報告した県内避難人口は4万6485人です。平成18年8月1日現在の春日部市人口24万2129人を分母とし算出した率に、同日現在の武里団地人口を乗じると2400人となります。都市再生機構が防災倉庫を設置し、地元自主防災組織が備蓄購入をした場合、費用の一部を補助します。まずは自主防災組織をつくることに努めて頂きたい、市とし

ても最大限支援します。10月には武里団地地区で大規模避難訓練を行います。

#### ○環境経済部長

ゴミBOXについては、便利な反面、団地外からの不法投棄を誘発していますが、引き続きゴミBOXからのゴミ収集をしてまいります。

#### このほか

○ララガーデンテナントについて  
○市立病院の小児科について  
○新市のイベントについて（庄和夏祭り花火大会）  
○選挙に関する備品管理について

### 縦割り行政の 解消について



会田 幸一  
議員

昔から役所は縦割りであって横の連携がないと言われてきました。これは、住民に対するサービス不足であり、行政に対する不信感や非協力的なつながりかねません。新生春日部市では、市長のもと市政改革を掲げ、職員の意識改革に積極的に取り組んでいます

が、合併後、縦割り行政の弊害が出ていると思われれます。そこで、弊害の現状の認識、及びその解消策を伺います。

また、副市長の役割等を伺います。さらに、市長は、弊害の解消に向け、どのような指示をしていくのか伺います。

#### ○総合政策部長

組織間の連携不足が生じやすくなっていますので、部長を補佐する専任次長を配置し、組織間の連携、職員の指揮監督、連絡調整を図っています。

#### ○副市長

市内外の重要事項や庁内の横断的な課題に対して市長を補佐し、スピード感をもって活力ある方向に導くことであると考えています。

#### ○市長

組織横断的に総合的な市民サービスが実現、実施できるよう職員を育成し、市民にわかりやすく、利用しやすい機能的な組織運営に努めます。

#### このほか

○交付税削減による影響  
○学校選択制及び二学期制  
○学校遊具について  
○街路樹による根張り盛り上がり歩道の危険について  
○春日部コミュニティ夏祭りに花火大会の開催を

## 公の施設の 使用料について



片山い<子  
議員

前回、公の施設の使用が許可され、使用料が免除になっている団体は、春日部市が出資したり、法律で定められたり、市の補助金交付要綱に基づいて、補助金を受けている団体であると伺いました。

障害者福祉団体については、障害者自立支援法の成立によって、授産を受け持っている障害者団体は、いかに一般就労に結びつけていくのか、非常に苦労しています。

公共施設の中に、売店、あるいは喫茶店などを設置させていただくことによって、職場実習につなげたり、社会参加の一步としたりできないかという切実な声があります。現在、市役所内に売店を設置し、使用料が免除されている団体と、他の障害者団体との違いをお示しください。

最後に、公民館等の使用料が免除になる団体とならない団体があり、議論となっています。

ます。今後、その違いを明確に示すことを要望します。

### ○福祉部長

障害者の就労支援のための公共施設の売店等の設置については、申請に基づき、行政財産の使用料に関する条例第3条第2項第1号に該当すると判断したものです。

また、拡大については、就労促進や社会参加の観点から、使用申請があった場合には、施設管理者に対して、可能な限り前向きな対応をお願いしていきたいと考えています。

### このほか

○総合振興計画について

## 介護保険料 独自減免制度を



村松 君子  
議員

住民税の増税や定率減税の廃止などによって、ますます

「貧困と格差」は拡大されています。特に、高齢者には老年者控除の廃止、年金の削減等で、まさに高齢者がねらい撃ちにされており、昨年の介護保険料の値上げは、高齢者の生活を苦しめています。こ

の値上げで、市の介護保険料は、県内市で2番目に高いものとなりました。この高すぎる介護保険料は引き下げるべきですが、まずは、特に低所得者の方に対しては、市独自の減免制度を設けるべきです。

県内40市中、21市では保険料の減免を行っており、市はすでに介護福祉では遅れた自治体になりました。同等規模の草加市では、すぐれた減免制度を行っていますが、それでも年間280万円規模です。

平成18年度決算で3億円の繰越しを持つ当市の介護保険会計から捻出できる規模です。

市の第3所得段階の月額保険料は2880円。草加市は2655円、越谷市は2250円です。減免になると、草加市が1755円、越谷市は1500円となり、当市より1000円以上低くなります。

滞納状況を見ても、特に低所得者への独自減免制度を設けるべきだと思います。

### ○市長

持続可能な制度の維持のため、応分の負担をいただく必要があると考えています。

### このほか

○市立病院、小児科・産科問題対策は

## ララガーデン オーブンにおける 安全対策・渋滞緩和策



岩谷 一弘  
議員

次のことについて伺います。

- ①周辺環境整備と歩行者等の安全対策について
- ②東西連絡地下道整備について
- ③ふれあい拠点施設予定地の貸出しについて
- ④市駐車場の土・日・祝・祭日開放について
- ⑤住民説明会と苦情窓口設置について

### ○鉄道高架担当部長

地元検討会を経て、春日部駅西口大沼線からイトーヨーカドー方向へ、また、ララガーデン方向へ、それぞれ一方通行に変更し、渋滞緩和と歩道確保を図ります。

周辺整備については、オーブン後も進めていきます。また、事前の住民説明会での反対はありませんでした。

### ○建設部長

東西連絡地下道の横断防護柵やスロープ修繕については、開店までに実施します。

### ○総合政策部長

予定地については、暫定的に臨時駐車場としてララガーデンへ貸出しする予定です。

### ○財務部長

近隣有料駐車場に影響を及ぼさない範囲で、有料化を前提として、閉庁日の開放に向けての検討を進めます。

### ○環境経済部長

市として、苦情総合窓口設置は考えていませんが、所管の部署にて対応します。

### このほか

○ムクドリ対策について

○春日部中学校テニスコート整備について



ララガーデン春日部

## 下増新田地域の環境問題について



秋山 文和  
議員

下増新田地域の農地内に産業廃棄物処理施設建設の動きがあり、地域住民からは建設反対の声と乱開発による生活環境の悪化が懸念されています。予定されているのは汚泥の中間処理施設のように、春日部市の下水道の汚泥処理にも係る仕事と聞いています。当然どこかでやらなければならぬことですが、都市計画上の工業地域へ誘導するなどの施策を講ずるべきであると要望します。

また、多数の反対意見が上っています。この計画について県とどのように交渉し、市としては許可すべきと考えているのか答弁願います。

**環境経済部長**  
産業廃棄物処理施設については法により県知事の権限で許可することとなっています。しかし、紛争等が多いことから、県では要領等により市町村の意見や周辺住民の同意

を求めるなどの行政指導を行っています。市としても県に意見を求められ、建築物設置制限や土地利用の制限の観点から問題点を回答しています。なお、産業廃棄物処理施設の工業地域への誘導については、現在していません。

**市長**  
今後におきましても良好な田園環境の維持や生活環境の保全を図るべく、県と十分調整します。

このほか

○総合振興計画の問題点  
○杉戸町民の合併反対の判断を市長はどう受け止めたか

## 特定健診、特定保健指導に ついて どう取り組むのか



英明 滝澤  
議員

平成20年度より国の医療制度改革で基本健康診査にかわり特定健康診査、特定保健指導が各医療保険者に義務づけられます。今までより医療機関は、人手と時間を要することになるため、健診と指導とともに受託することが困難になる場合があるのではないかと心配です。医療機関は改正後、健診結果を電子データで市に提出しなければならず、市側は、指導判定やデータ管理で人員増やシステムの予算が必要になるのではないのでしょうか。

あわせて、後期高齢者医療制度の対象となる75歳以上の方は、国保から外れ、新たに広域連合が保険者となりますが、健診事業から外されることのないよう注意願います。

**健康保険部長**  
この事業は40歳以上74歳以下を対象に、健診結果から従来実施していなかった保健指導をして生活習慣病予防をするものです。実施については医師会等への委託を考えていますが、法整備が遅れており、情報が入らないのが現状です。また、経費は補助基本単価の3分の2が国・県の負担です。市でも予算措置や保健師などの人員確保を進めます。

後期高齢者医療広域連合は、市町村への事業委託も検討しているようですので、今後協議してまいります。

このほか

○こども医療費助成について  
○西金野井第二土地区画整理事業の保留地公売について

## 「ふじちゃんカード」で市税や公共料金を納付できる制度の導入について



利夫 大山  
議員

宮城県多賀城市では、買い物ポイントカードと共通商品券で市税や上下水道料金などが納付できるようにしました。この制度の主眼は、ポイントカードにより税金や公共料金を納めやすくするとともに、地元商店会の活性化と地域振興を図るものです。

そこで、多くの市民に利用され親しまれている「ふじちゃんカード」で市税や公共料金が納付できるよう、この制度の導入を提案しますが、市の考えと商都復活を公約とする市長の答弁をいただきたい。

**環境経済部長**  
地元消費の拡大、市内商工業の発展に有効な制度と考えています。

**市長**  
実施に向けた検討はすでに進んでいます。これまでに実施した自治体を参照に早期に実施したいと考えています。

このほか



○「不要入れ歯回収ボックス」について  
○「高齢者宅の給水装置の無料点検」について  
○「侵入盗対策の「無料の住宅防犯診断」について  
○小・中学校の耐震補強やトイレ等の改修について  
○「教育立市・春日部」の宣言について  
○「県職員等不祥事防止対策条例」について  
○市道1-12号線の銚子口神社周辺の道路舗装及び側溝の整備と文化村自治会のカスミストア側と藤ヶ丘自治会の側溝の整備について

庄和地区と柳町西口の  
春日部下駅に  
大型店舗をついで



松本 浩一 議員

来年秋、関東最大という大型商業施設、インセンスパークが庄和・下柳地区にオープンの予定で工事が進められているようですが、現在は土が高く積みれ雑草がはえています。来年秋にオープンできるのででしょうか。また、開店の期限はあるのでしょうか。

今年の11月に春日部駅西口にオープンするララガーデンに、市内の商店が全く入れなかったのはなぜでしょうか。また、市内の商店街、特に東口の商店街に及ぼす影響をどう見ているのでしょうか。また、従業員に市民が採用されるように、市は働きかけはしたのでしょうか。

○都市整備部長

インセンスパークは、現在盛土が済み、公共下水道への接続等の工事をしており、開店は来年秋と聞いています。今後とも工事の進捗状況の報告を求め、事業計画の適切な

進行を確認してまいります。開店の期限はありません。○環境経済部長

ララガーデンは、年中無休、長時間営業のため、市内の商店は入らなかつたようです。東口の商店街に与える影響は否定できず心配しています。商工会議所等と協力して活性化を図っていきます。

また、従業員として市民の採用をお願いしています。このほか

○春日部市の農業と商工業の現状と課題について

○開発優先ではなく、地域資源を生かした土地利用を



インセンスパーク予定地

陳情

○陳情第1号

公民館使用有料化に関する減免措置の陳情

今定例会の日程

8月27日

議案第71号から議案第99号までの上程・説明

8月30日

議案第71号から議案第84号までに対する質疑

8月31日

議案第84号に対する質疑

9月3日

議案第84号から議案第91号までに対する質疑

9月4日

議案第92号から議案第99号までに対する質疑

9月6・7日

常任委員会

9月11日

一般質問（6人）

9月12日

一般質問（6人）

9月14日

一般質問（5人）

9月18日

一般質問（5人）

9月19日

一般質問（5人）  
9月21日

常任委員長報告とそれに対する質疑、各議案に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月22日  
平成19年9月定例会運営について

▽市立病院健全経営検討特別委員会

9月25日  
地方公営企業としての公立病院について

▽議会だより編集委員会

9月26日  
議会だより第9号の発行について

10月9日

議会だより第9号の発行について

15年表彰

- 山口 保
- 石川 勝也
- 阿部 喜一



次の定例会は  
11月26日(月)  
開会予定です

市議会は年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開会しています。議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。傍聴席は56席（車いす傍聴席2席含む）です。本会議は、通常午前10時から開催されます。

# 市議会ホームページ紹介

市議会では、多くの新しい情報を提供するため、

平成19年9月1日からホームページを開設しました。



市議会のホームページでは、これまで春日部市役所のホームページ（議会事務局の各課情報）でお知らせしていた情報に加えて、請願の審査結果や意見書の議決結果等を掲載し、内容を充実させました。

また、合併以降（平成17年10月～）の市議会本会議の会議録の閲覧、検索ができるようになり、機能を大幅に向上させました。会議録は、日程ごとの閲覧のほか、検索画面で「言葉」、「発言者名」、「期間」等を指定して検索することもできます。

なお、情報の更新は随時行いますが、会議録については、定例会終了後、次回定例会の開会までに更新する予定です。

春日部市議会ホームページアドレス

<http://www.kasukabe-shigikai.jp>

**傍聴して一言**

税増収へ向けての春日部市独自の施策や「取る」つまり引き算だけではなく、「皆で向上」、「共に成長」皆で喜ばれる政があっても良いのではないかと思います。

男性31歳

市立病院がなくなってしまうのではという危機感が、体をふるわせました。何を考えているのでしょうか。本当に市民のことを考えているのでしょうか。病気で苦しむ市民、

今定例会傍聴状況	月日	傍聴者数	主な日程
8/27	1	上程・説明	質 疑
8/30	3	質 疑	質 疑
9/3	4	質 疑	質 疑
9/4	5	質 疑	質 疑
9/11	43	一般質問	一般質問
9/12	23	一般質問	一般質問
9/14	14	一般質問	一般質問
9/18	54	一般質問	一般質問
9/19	28	一般質問	一般質問
9/21	6	討論・採決	討論・採決
合計	184		

※割愛させていただいた部分もあります。

女性50歳代

子どもをかかえる親のことを考えているのでしょうか、不安でなりません。

女性50歳代

市立病院の小児科・産科が再開されなければ、市立病院の使命を果たせないと思います。これからのどうなるのか本心に心配です。市長も病院長も努力していると思いますが、なりふりかまわず、がんばってほしいです。

女性46歳

今回何度か参加させていただき、春日部市の状況が少しわかりました。市民の税金の使い方の大事な討議、ぜひ私達の生活が豊かになるよう考えてほしいと思いました。市立病院がなくなるなんてとてもない、病気にはいつなるかわからない。ぜひ再建してほしい。私たちも傍観者にならず、参加していかなければならないと思いました。十分討議して、住みよい安心して暮らせる市になるよう、よろしくお願い致します。

## 編集後記

9月議会では、各会計の平成18年度決算を認定しました。決算の審査を通じて、市民サービスの向上につながるよう、議会としての役割を果たしてまいります。

早いもので、今年もあと2カ月を残すのみとなりました。これから寒さが日ごとに増していきますが、風邪などをひかぬよう、お互い気をつけてまいります。

### 議会だより編集委員会

- 委員長 村松 君子
- 副委員長 新部 裕介
- 委員 鬼丸 裕史
- 委員 岩谷 一弘
- 委員 洪田 智秀
- 委員 松本 浩一
- 委員 武 幹也
- 委員 石川 勝也
- 委員 小島 文男
- オプザーバー
- 議長 山崎 進
- 副議長 鈴木 保

〒344-8577  
埼玉県春日部市中央6丁目2番地  
春日部市議会  
TEL 048-736-1111 (代表)  
内線3116